

日時：2025年 10 月 10 日(金) 16:00 -18:00

場所：衆議院第二議員会館多目的会議室&Zoom

言語：日本語・英語（逐次通訳付き）

参加費
無料

原発の燃料の原料となるウラン採掘はどこで行われてきたのでしょうか。
また原発から出る核廃棄物はどこに行こうとしているのでしょうか。
このたび、ウラン採掘、核廃棄物から、人々の土地や健康、権利を擁護する Diné（ナバホ族）出身のレオナ・モーガンさん、また南アフリカのリディア・ピーターセンさんをゲストに迎え、原子力と人権を考える集会を開催します。
ぜひご参加ください。



原子力と人権

ウラン採掘・核廃棄物の現場から考える



レオナ・モーガンさん

ディネ（ナバホ族）のオーガナイザー・活動家。2007年から核植民地主義と闘う。ディネ・ビケヤ（Diné Bikéyah、ディネ族の伝統的な故郷）出身で、ニューメキシコ州に居住。同州には、多くの放棄されたウラン採掘地、核兵器研究所、ウラン濃縮施設がある。レオナさんは、核輸送に反対する「Haul No!」の共同設立者で、北アメリカ全域の影響を受けたコミュニティや団体と協力し、ウラン採掘から核兵器、放射性廃棄物の貯蔵・輸送に反対する活動を行っている。



リディア・ピーターセンさん

南アフリカの気候正義活動家。ウラン採掘や、原発や放射性廃棄物に至るまで、核燃料サイクルのあらゆる段階で影響を受けている地域社会と共に活動している。活動を通じて、原子力がもたらす収奪、汚染、将来に与える影響などを可視化することを重視している。また、公聴会の準備や意見書の作成など、地域の人々の同意なしに行われる決定に立ち向かうための共通の力を築くための活動も行っている。

プログラム(予定)

- 核植民地主義と先住民族の権利 — レオナ・モーガンさん
- 人々は意思決定に参加できるのか？ — リディア・ピーターセンさん
- 途上国への核輸出に道を開く？
世界銀行アジア開発銀行の政策転換と日本の責任

参加方法：会場参加の方は申し込み不要です。15:30 から入館証を配布します
オンライン参加：Zoom 参加の方は右の QR コードからお申込みください。
共催：国際環境 NGO FoE Japan、ピースボート

Zoom
参加の方は
こちら



問い合わせ先：国際環境 NGO FoE Japan
TEL: 03-6909-5983
E-mail: info@foejapan.org

カンパ募集！ ゲストの交通費や宿泊費、通訳費などの費用に充てさせていただきます。

振込先：城南信用金庫 高円寺支店 普通 358434
エフ・オー・イー・ジャパン（振り込み後、info@foejapan.org まで「原発と人権への寄付」とご一報ください。）